

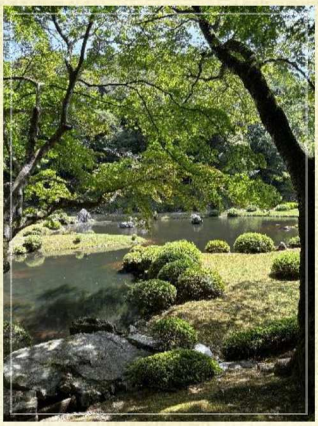
山口の名勝

常栄寺 雪舟庭

雪舟といえば、涙で鼠を描いたという逸話が有名です。常栄寺は、約五百年前に大内正弘が別邸として建てさせたもので、庭は雪舟が築庭したものと言われています。

山裾に位置するため、山の新鮮で涼しい空気が感じられ、避暑にもおすすめです。

一訪れて三の景趣



庭園は本堂から見て北側に位置しており、大正十五年に国の史跡および名勝に指定されました。

庭園は開けた土地の中央部分に池泉を築いた、池泉回遊式庭園です。これは文字通り庭を回遊してさまざまな視点から観賞する庭の造りであり、この庭園を楽しむにあたって大切な視点があります。

❖第一の視点は本堂のある位置。本堂と池泉の間は芝生の枯山水で、瀧石や山腹などが視界に入る安定感のある景色になっています。

❖第二の視点は西側の竹林と出島状になっている芝生のあたり。ここから見ると、池泉と瀧が正面にみえ、北側の石組みが中景になります。

❖第三の視点は枯山水東側の、現在は書院跡になっている場所。ここからは、池泉と楼閣風の建物の景観を中心にしていたといわれています。





雪舟庭は紅葉の名所でもあります。春は緑豊か、夏はそよぐ風が心地よく、秋は紅葉に見応えがあり、冬は侘しさをも感じることができる。どの季節に訪れてもその豊かな景趣を楽しむことができるでしょう。

私が訪れたのは夏の日でしたが、本堂を吹き抜ける風が真夏のものとは思えないほど冷たく、心地よいものでした。この場所に建っているからこそ味わえる感覚です。

紅葉の名所といえば、五重塔も名が上がります。山口の特に有名な国宝の一つです。

和様と禅様のコントラストが美しい、大内文化を代表する建物です。正面から圧倒されるのはもちろん、付近にある遊歩道から裏手にまわっても、普段と違った印象を味わうことができるそうですよ。

五重塔は二〇二五年に修復が終わったばかりで、夜間にはライトアップされるのも魅力です。

山口に訪れたなら、必ず見ておきたい場所です。

❖❖❖❖